

元年度 会長就任あいさつ

「学校事務って！ 私たちの専門性は何？
を考えよう」



令和元年度から、歴史を積み重ねてきた事務職員会の会長を務めることとなりました富士市立吉原小学校の深澤準治です。小中学校事務職員としての経験は浅く研究実践もない私ではありますが、会員の皆さまのご支援、ご協力をいただきながら一生懸命務めていきますので、どうぞよろしくお願いたします。

さて、本寄稿にあたって、「はばたき」のバックナンバーを会の Web サイトを活用し遡ってみました。記念すべき第 1 号は平成 8 年 6 月 27 日付け、当時は広報紙に名前がなく「会報 事務研だより」として発刊されていました。太田季雄会長の『事務研が発足して 43 年・・・「研究会」は皆さんの会です。会員としての「自覚と意欲」、研究会への「智恵と力」を期待しています。』とのあいさつ文を拝見し、思わず背筋を伸ばして繰り返し読み直し、会長職の重責を痛感している次第です。

ところで、平成 29 年の学校教育法等の改正に伴う、学校事務職員の職務規定の見直しや共同学校事務室の制度化から 2 年が経過するとともに、学校における働き方改革の推進が喫緊の課題とされる中において、現在の学校における事務・業務の在り方や事務機能の強化も大きな課題となっています。さらに、来年 4 月に施行される地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴う、新たな任用制度への移行による制度改正や事務処理の変更等が予想されます。

このように、私たちを取り巻く昨今の環境はとても流動的であり、共同学校事務室における業務活動の中においても、個人の見通しや経験値等が利きにくくなっているなど感じられます。これからは Society5.0 時代の到来を見据え、私とあなたがチームでもって考えることが、より必要に迫られることでしょう。

できることは何だろう、会員一人一人が自身の専門性を磨きつつ、自らつかさどる行動が求められている、そしてこれを果たしていくことに対し、手を差し伸べていけるような会であればいいなと思います。

本会では、「事業の整理」作業に伴う執行の保留と新たな学校事務の未来像の構築を掲げ、既定の事業計画を進めながらも、組織運営全般を見直しし、各事業を精査、整理していきます。なお、整理作業の進行具合等により、やむを得ず事業計画の一部変更等を行う場合があることをどうぞご理解願います。

最後に、県大会についてです。例年ですと、開催は 8 月ですが、本年度は東海大会を兼ねることから、「磐周・湖西大会」として令和 2 年 2 月 7 日に浜松市で開催します。大会テーマは「学校・家庭・地域、次代へつなぐ学校事務の創生」、会員相互のつながりと協働をもって、大会が盛会となりますよう各々の役割の中で頑張ります。